



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月9日

上場会社名 アトムクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4625 URL <https://www.atomix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神保 敏和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 富士田 学 (TEL) 03 (3969) 0471
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	2,294	△8.0	32	△65.0	39	△61.4	19	△88.8
2018年3月期第1四半期	2,493	5.8	92	30.1	101	95.8	174	370.3

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △0百万円(—%) 2018年3月期第1四半期 131百万円(456.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	3.12	—
2018年3月期第1四半期	27.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	14,250	9,645	67.7
2018年3月期	14,679	9,742	66.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 9,645百万円 2018年3月期 9,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,300	5.0	180	△10.1	190	△10.4	120	△50.8	19.20
通期	11,200	0.2	500	△13.6	510	△13.9	350	△29.1	56.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	7,242,000株	2018年3月期	7,242,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	990,214株	2018年3月期	990,214株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	6,251,786株	2018年3月期1Q	6,247,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済、金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかし、個人消費の伸びは力強さに欠け、原材料価格や物流コストの上昇など依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは「環境対策」「安全・安心」をキーワードに、環境対策製品や他社と差別化できるオンリーワンの製品の開発を行うとともに、「競争力のある工場」をめざし各工場の運営体制の見直しによる原価低減にも努めてきました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高22億94百万円（前年同期24億93百万円）、営業利益32百万円（同 92百万円）、経常利益39百万円（同 1億1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益19百万円（同 1億74百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

<塗料販売事業>

建築、床用塗料は、昨年発売した「フロアトップアクア フォルティス」が当第1四半期も順調に推移していることと、工事案件も堅調に伸びてきていることにより前年を上回りました。家庭用塗料は、インターネット通販による売上は順調に推移していますが、ホームセンターへの売上低迷が依然として続いているため前年を下回りました。道路用塗料は、工事発注の遅れや発注で使用される材料の減少などにより前年を下回りました。なお、当期より発足したレイズ事業部で扱っている専門施工会社向け水性アクリルゴム系塗膜防水材は、大型民間物件の獲得もあり順調に伸ばしています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は、前年同期と比べて1億72百万円減少し22億32百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

<施工事業>

床材工事は前年を上回りましたが、道路施設工事は、当第1四半期での完成工事物件の減少により前年を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の施工事業の売上高は、前年同期と比べて26百万円減少し61百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億28百万円減少し、142億50百万円となりました。これは主に、仕掛品で1億55百万円、商品及び製品で1億円増加したものの、受取手形及び売掛金で7億8百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて3億31百万円減少し、46億5百万円となりました。これは主に、その他（流動負債）で96百万円増加したものの、支払手形及び買掛金で2億23百万円、賞与引当金で1億55百万円減少したためです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて97百万円減少し、96億45百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益で19百万円増加したものの、配当金で96百万円、その他有価証券評価差額金で20百万円減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想については、2018年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,877,766	2,811,068
受取手形及び売掛金	3,760,267	3,052,098
電子記録債権	580,134	629,918
商品及び製品	982,466	1,083,324
仕掛品	197,740	353,497
原材料及び貯蔵品	471,150	489,194
その他	33,646	68,785
貸倒引当金	△31,914	△31,104
流動資産合計	8,871,257	8,456,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,083,938	1,066,186
機械装置及び運搬具（純額）	238,513	—
土地	2,930,295	2,930,295
その他（純額）	173,795	453,690
有形固定資産合計	4,426,543	4,450,173
無形固定資産	202,667	197,721
投資その他の資産	1,178,803	1,145,788
固定資産合計	5,808,013	5,793,682
資産合計	14,679,270	14,250,464
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,902,456	1,678,526
電子記録債務	920,388	920,136
短期借入金	345,820	345,820
未払法人税等	43,788	14,474
賞与引当金	198,967	43,957
その他	574,613	671,129
流動負債合計	3,986,033	3,674,045
固定負債		
長期借入金	456,100	419,645
役員退職慰労引当金	71,208	74,128
株式給付引当金	41,606	45,438
退職給付に係る負債	272,984	274,775
資産除去債務	41,706	41,829
その他	67,324	75,394
固定負債合計	950,929	931,211
負債合計	4,936,963	4,605,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	8,078,010	8,001,076
自己株式	△401,741	△401,741
株主資本合計	9,408,838	9,331,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337,493	316,952
退職給付に係る調整累計額	△4,024	△3,649
その他の包括利益累計額合計	333,469	313,303
純資産合計	9,742,307	9,645,208
負債純資産合計	14,679,270	14,250,464

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高		
商品及び製品売上高	2,404,814	2,232,319
工事売上高	88,741	61,958
売上高合計	2,493,555	2,294,278
売上原価		
商品及び製品売上原価	1,625,060	1,522,506
工事売上原価	62,227	55,010
売上原価合計	1,687,288	1,577,516
売上総利益	806,267	716,762
販売費及び一般管理費	714,187	684,560
営業利益	92,079	32,201
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	4,763	5,299
為替差益	1,847	1,041
その他	5,531	2,593
営業外収益合計	12,156	8,946
営業外費用		
支払利息	2,335	1,857
営業外費用合計	2,335	1,857
経常利益	101,900	39,290
特別利益		
固定資産売却益	99	199
投資有価証券売却益	26	—
関係会社清算益	112,245	—
特別利益合計	112,371	199
特別損失		
固定資産除却損	31	342
特別損失合計	31	342
税金等調整前四半期純利益	214,240	39,147
法人税、住民税及び事業税	18,069	5,746
法人税等調整額	22,029	13,893
法人税等合計	40,099	19,640
四半期純利益	174,141	19,507
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,141	19,507
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,296	△20,541
為替換算調整勘定	△82,371	—
退職給付に係る調整額	373	375
その他の包括利益合計	△42,701	△20,165
四半期包括利益	131,440	△658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,440	△658
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	
税金費用の計算	連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。	